交対協だより3月号談談

福島県交通対策協議会

福島県父週对策協議会 (事務局 福島県生活交通課)

令和7年3月17日

令和7年春の全国交通安全運動

~4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間~

4月10日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。 一人一人が交通事故に注意して行動しましょう。

来月4月6日からの10日間、春の全国交通安全運動が 実施されます。4月は新年度のスタートです。新入学児 童を始め、歩行者が安全に通行できる交通環境を地域全 体で確保しましょう。また、ドライバー一人一人が交通 ルールを守り、安全確認を徹底することで、悲惨な交通 事故を起こさない、あわないように互いに注意し合いま しょう。

【年間スローガン】

「<u>わたります 止まるやさしさ ありがとう</u>」

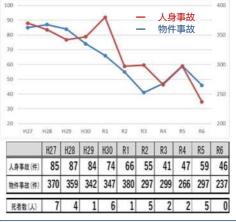
【運動のスローガン】

「どんなときも わすれちゃだめだよ みぎひだり」

【運動の重点】

- 1 こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路 交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット 着用と交通ルールの遵守の徹底

有用と父迪ルールの遵守の徹底 【地域重点】 「飲酒運転を許さない社会環境づくり」







福島県交通対策協議会 ミカニ ミカニ ミカニ ミカニ ミカニ

県警では、毎月22日を「飲酒運転根絶に向けた取組強化日」と指定 し、県内各警察署等において飲酒運転の交通指導取締りや街頭啓発活動 を実施することとしています。歓送迎会など飲酒会合が多い時期です が、参加者一人一人が飲酒に起因する事故を起こさないよう互いに注意 し合いましょう。

自転車ヘルメットの着用について

~通勤・通学時の自転車ヘルメット着用~

新年度は新たなスタートです。中高生を始め、社会人の方も新たに通学・通勤時に自転車を利用される方もおられると思います。自転車事故で亡くなる方の約5割は頭部の損傷が致命傷となっています。自分自身やお子さん、家族など、かけがえのない大切な命を守るためにも、自転車利用時には必ず自転車ヘルメットをかぶるようにしましょう。「自分だけは大丈夫!」と思われてる方も油断は禁物、根拠はなにもありません。県内でも、頭部の負傷が致命傷となった自転車利用者の交通死亡事故が発生しています。また、自転車損害賠償責任保険等にも、必ず加入しましょう。











○ 令和6年2月に計上された死亡事故は3件3名でした。

死亡事故の内訳は、普通車と歩行者の衝突事故、普通車同士の衝突事故2件の計3件であり、前年比+1件です。人身物件事故発生数、傷者数のほか、物件交通事故についても大きく増加しており、一層の広報啓発が必要な状況です。

◎交通事故発生状況 ※令和6年中はうるう年の2月29日分まで計上

(R7.2月末)

	発	生	件数	死 者 数			傷者数		物件交通事故		
	- 元		IT XX			うち高	影齢者	120 1	= 双	170 1下 久 1	四爭以
	2	月	累計	2 月	累計	2 月	累計	2 月	累計	2 月	累計
令和7年	252	件	515 件	3 人	10 人	3 人	8 人	304 人	621 人	4,667 件	9,091 件
令和6年	202	件	424 件	2 人	11 人	0 人	8 人	232 人	484 人	3,649 件	7,858 件
増 減 数	50	件	91 件	1 人	-1 人	3 人	0 人	72 人	137 人	1,018 件	1,233 件
増 減 率	24. 8	%	21.5 %	50.0 %	-9.1 %	— %	0.0 %	31.0 %	28.3 %	27.9 %	15.7 %

◎地方振興局別交通事故発生状況

(R7.2月末累計)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	高速道	合計
発生件数	103 件	138 件	45 件	61 件	6 件	43 件	116 件	3 件	515 件
前年同期比	17 件	25 件	-1 件	14 件	5 件	8 件	12 件	-4 件	76 件
死 者 数	0 人	3 人	2 人	3 人	0 人	1 人	1 人	0 人	10 人
前年同期比	0 人	0 人	0 人	1 人	-1 人	0 人	-1 人	0 人	-1 人
傷者数	120 人	176 人	52 人	73 人	6 人	45 人	146 人	3 人	621 人
前年同期比	21 人	44 人	5 人	25 人	6 人	-7 人	31 人	-5 人	120 人